

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	世界ドーピング防止機構拠出金	<b>担当部局庁</b>	スポーツ・青少年局	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成14年度	<b>担当課室</b>	競技スポーツ課	競技スポーツ課長 杉浦 久弘				
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>施策名</b>	XII-3 我が国の国際競技力の向上					
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	ユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」第14条・15条	<b>関係する計画、通知等</b>	スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定) スポーツ振興基本計画(平成18年9月21日改定)					
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ドーピングは、競技者の健康を損ね、スポーツの価値を損ねるなどの問題があり、世界的規模での幅広い防止活動が求められている。我が国は、世界ドーピング防止機構(WADA)のアジア地域代表常任理事国として、またユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」の締結を踏まえ、国際的なドーピング防止活動を行うWADAへ資金拠出を行い、WADAの任務を支援することによって、ドーピングのない健全なスポーツの国際的な普及・発展を図る。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	国際的なドーピング防止活動を行うWADAへ資金拠出を行い、WADAの任務(世界ドーピング防止規程の策定・改定・普及、各国際基準の策定・改定・普及、RADO(地域ドーピング防止組織)活動の普及、ドーピング防止教育の普及など)を支援する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	155	155	134	122	122	
		補正予算	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-			
		計	155	155	134	122	122	
		執行額	155	141	134			
	執行率(%)	100.0%	91.0%	100.0%				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	WADAへ資金拠出を行うものであり、定量的な指標にはなじまない		成果実績					
			達成度	%				
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	毎年度4月に、WADAに1,502,800US\$を拠出		活動実績 (当初見込み)		155	141 (155)	134 (134)	- (123)
<b>単位当たりコスト</b>	毎年度為替レートが異なるため、日本円は一定ではないが、1,502,800(US\$/年)を拠出		算出根拠	$17,000,000US\$ \times 0.5 \times 0.1768 = 1,502,800US\$$ 各国政府が、2002年WADA予算総額(17,000,000US\$)の50%を拠出し、そのうち、日本の負担割合は17.68%とすることが決定された(平成13年5月、国際政府諮問グループ第3回会議)。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	世界ドーピング防止機構拠出金	122百万円	122百万円					
	計	122百万円	122百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、スポーツ立国戦略の「ドーピング検査体制・防止活動の充実」においてその必要性が明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業であり、また、スポーツ界の透明性や公平・公正性を向上させることは、誰もが安全かつ公正な環境の下でスポーツに参画できる機会を充実させるための基礎条件であり、次代を担う青少年が、スポーツを通じて、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度等を培っていくためにも重要であることから、広く国民のニーズがある事業である。なお、日本は、アジアで唯一のWADA常任理事国として、国際的なドーピング防止活動の推進を図る義務があるため、国が推進していく必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	WADA常任理事会・理事会に出席し、WADAの活動、予算、決算等について把握に努めている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	WADAへの拠出金の支出であり、委託事業等になじむものではなく、本省による直接執行が最も実効性の高い手段である。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・予算の執行状況、活動実績については、WADA常任理事会・理事会に出席し、WADAの活動、予算、決算等について把握に努めている。</p> <p>・本事業では、国際的なドーピング防止活動を行うWADAに対して支援することにより、ドーピング防止活動の国際的な普及・発展を図ることができた。今後とも、WADAの活動、予算、決算等についての把握に努めつつ、アジア地域代表常任理事国としての責任を果たしていくべきである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、ユネスコの「スポーツにおけるドーピング防止の防止に関する国際規約」の締結を踏まえ、国際的なドーピング防止活動を行うWADAへ資金拠出を行い、WADAの任務を支援することによって、ドーピングのない健全なスポーツの国際的な普及・発展を図ることを目的として、長期継続事業であり、活動費の妥当性の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：日本国は、当該機構のアジア地域代表常任理事国であり、締約国との競技に基づき応分の規模で拠出しており、引き続き現在の予算規模を維持せざるを得ないと考え。ただし、WADAの活動費の妥当性の検証を深め、また、各国の拠出バランス等を勘案するなどして、引き続き、我が国の拠出額の見直しに努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—	引き続き、WADA常任理事会・理事会に出席し、WADAの活動、予算、決算等についての把握に努める。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>スポーツ基本計画について：<a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm</a></p> <p>スポーツ立国戦略について：<a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm</a></p> <p>世界ドーピング防止規程について：<a href="http://www.playtruejapan.org/downloads/code/WADA_CODE_2009_JP.pdf">http://www.playtruejapan.org/downloads/code/WADA_CODE_2009_JP.pdf</a></p> <p>日本ドーピング防止規程について：<a href="http://www.playtruejapan.org/downloads/code/JADA_Code_2009_Version2.pdf">http://www.playtruejapan.org/downloads/code/JADA_Code_2009_Version2.pdf</a></p> <p>ユネスコ「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」について：<a href="http://www.mext.go.jp/unesco/009/003/017.pdf">http://www.mext.go.jp/unesco/009/003/017.pdf</a></p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0371	平成23年行政事業レビュー	0360

文部科学省  
134百万円

国際的なドーピング防止活動を行うWADAへ資金拠出を行い、WADAの任務(世界ドーピング防止規程の策定・改定・普及、各国際基準の策定・改定・普及、RADO(地域ドーピング防止組織)活動の普及、ドーピング防止教育の普及など)を支援する。



【拠出】

A.世界ドーピング防止機構拠出金:134百万円  
世界ドーピング防止機構

- ・世界ドーピング防止規程の策定・改定
- ・世界ドーピング防止規程の普及
- ・各国際基準の策定・改定
- ・各国際基準の普及
- ・ドーピング防止教育の普及
- ・ドーピング検査の実施 等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位:百万円)

A.世界ドーピング防止機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
世界ドーピング防止機構 拠出金	世界ドーピング防止規程の策定・改定・普及、各国際基準の策定・改定・普及、RADO(地域ドーピング防止組織)活動の普及、ドーピング防止教育の普及	134			
計		134	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金  
 額が支出されて  
 いる者について  
 記載する。費目  
 と使途の双方で  
 実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.世界ドーピング防止機構拠出金

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	世界ドーピング防止機構	世界ドーピング防止規程の策定・改定・普及、各国際基準の策定・改定・普及、RADO(地域ドーピング防止組織)活動の普及、ドーピング防止教育の普及	134	拠出金	—